

げんきな子ども

やさしい子ども

がんばる子ども

北区立ふくろ幼稚園

親子で楽しむ幼稚園

園長 篠澤 恵理

さわやかな秋空の日に、新河岸東公園へ親子一緒に遠足に行きました。年度初めの計画では、電車で芋掘り遠足に行く予定でしたが、この度のコロナウイルス感染予防を考慮し身近な地域で楽しめることを考えました。公園では、互いの鉢巻きを取る遊びや、かくれんぼ、バルーンなど、みんなで過ごす楽しさが感じられるように幼稚園の遠足ならではの遊びをしました。かくれんぼでは、まずは子どもが自分の親を見付けることにしました。保護者の方々は、見付からないように隠れたり、子どもの動きに合わせて隠れる場所を移動したりと工夫していました。保護者の方が、童心に帰って面白がりながら子どもたちと一緒に遊ぶ姿がとても素敵で、親も子も笑顔があふれる一日になりました。保護者の方々の隠れ方を学んだ子どもたちは、幼稚園でかくれんぼをするときにも工夫が見られ、隠れ方が上手になっています。保護者の皆様にご協力をいただいたおかげで、子どもたちは、新たな見方や楽しみ方を得ることができました。地域の公園で過ごした思い出は、地域を愛する気持ちにもつながっていくことでしょう。

さて芋掘りの方は、PTA 共催行事である「わくわくまつり」のお楽しみとして、幼稚園で栽培したサツマイモと里芋を親子で収穫体験ができるようにしました。保護者の方も、土の中から顔を出した芋を見付けて歓声をあげる場面もあり、自分と同じように喜ぶ笑顔を見た子どもは、さらに嬉しそうでした。栽培物は、今後たくさん収穫時期を迎えます。小松菜とオクラの味噌汁、カブとカブの葉の炒め物など、「収穫祭り」として、里芋やサツマイモと共に、毎日のように楽しみに食べようと考えています。さらに、11月～12月には、大根やブロッコリー、キャベツ、ニンジンなども大きく育つことでしょう。幼児期に、大好きな人と一緒に同じ場で、同じ物を見つめ、同じ時を過ごす体験は、子どもたちにとってもかけがえのないことです。親子で一緒に楽しむ幼稚園として、これからも知恵と工夫で素敵な体験が出来るように努めてまいります。

《今月のめあて》

- 4歳児
こりす組
- ・自分の思ったことやイメージしたことを、実現させて遊ぶ楽しさを感じる。
 - ・自分の気持ちや考えたことを表したり伝えたりして、友達と関わって遊ぶことを楽しむ。
- 5歳児
もり組
- ・学級のみんなであることを楽しみ、周りの動きを意識して動く楽しさを感じる。
 - ・友達と遊ぶ中で、自分の力を出す楽しさを感じたり、友達のよさに気づき認めたりする。
 - ・友達と考えや思いを出し合ったり受け入れたりしながら、目的に向かって遊びや生活を進める楽しさを味わう。

今月の歌

☆ ゆうやけこやけ ☆



- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1 | ゆうやけこやけで ひがくれて
やまのおてらの かねがなる
おててつないで みなかえろ
からすといっしょに かえりましょう | 2 | こどもがかえった あとからは
まるいおおきな おつきさま
ことりがゆめを みるころは
そらにはきらきら きんのほし |
|---|---|---|--|